

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人 創生

**社会福祉法人 創 生**  
**令和 4 年度 事業報告**

1. 経営理念

利用者の笑顔が  
家族の安心  
職員の喜びに

2. 運営事業

第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム 土支田創生苑の経営  
障害者生活支援施設 土支田創生苑の経営

第二種社会福祉事業

老人短期入所事業の経営  
老人デイサービスセンターの経営（財産処分手続き中）  
障害福祉サービス事業の経営

その他

地域貢献事業  
・生計困難者等に対する負担軽減事業

3. 法人会議

(1) 評議員会

| 区分    | 期日           | 出席数                         | 議決内容                      |
|-------|--------------|-----------------------------|---------------------------|
| 定 時   | 6 月 19 日 (日) | 評議員 7 名<br>理事 2 名<br>監事 2 名 | 事業報告について (報告)<br>決算報告について |
| 第 2 回 | 8 月 31 日 (水) | 決議省略                        | 社会福祉充実計画の変更について           |

(2) 理事会

| 区分    | 期日           | 出席数              | 議決内容   |
|-------|--------------|------------------|--|
| 第 1 回 | 6 月 5 日 (日)  | 理事 6 名<br>監事 2 名 | 専決処分について (報告)<br>事業報告について<br>決算報告について<br>定時評議員会の開催について<br>役員等賠償責任保険の契約更新について |
| 第 2 回 | 8 月 25 日 (木) | 決議省略             | 社会福祉充実計画の変更について<br>評議員会の招集について   |

|     |               |                |   |
|-----|---------------|----------------|---|
| 第3回 | 12月2日(金)      | 決議省略           | 国庫補助金財産処分(転用)及び<br>介護保険事業の廃止について<br>簡易陰圧ブース(ライブ D-ZERO 15式)<br>購入入札会の開催について<br>ナースコール設備の更新について                              |
| 第4回 | 12月18日<br>(日) | 決議省略           | 法人指導監査指摘事項の改善について<br>経理規程の一部改正について<br>評議員会の開催について   |
| 第5回 | 3月26日<br>(日)  | 理事 5名<br>監事 1名 | 専決処分について(報告)<br>経理規程の一部改正について<br>収支補正予算(第1号)(案)について<br>事業計画(案)について<br>資金収支予算(案)について<br>介護記録ソフトの入替について<br>役員等賠償責任保険の契約更新について |

### (3) 監事監査

5月21日(土) 監事 2名 令和3年度事業報告及び収支決算等を対象

### 4. 職員関係

全職員 83名(正職員 41名、準職員 42名)

採用:正職員 3名、準職員 8名

退職:正職員 1名、準職員 9名

派遣職員 10名

### 5. 財務関係

別紙、決算書のとおり

(顧問税理士事務所による巡回指導 月1回、年間12回)

### 6. その他

- ・国庫補助金財産処分(転用)の手続き

通所介護事業、認知症対応型通所介護事業、在宅介護支援センター分補助金を  
特別養護老人ホームへの転用

東京都 通所介護事業、認知症対応型通所介護事業、在宅介護支援センター分

令和5年3月9日転用承認

練馬区 認知症対応型通所介護事業分(手続き中)

# 令和4年度 事業報告

(処遇関係)

中期目標に沿って重点項目を設定して取り組んできました。以下は昨年の重点項目の実施状況を報告いたします。

## 【令和4年度の利用率の実績】

| 区分    | 生活支援課 |       | 障害者支援課 |       |       |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|       | 特養    | 短期入所  | 入所支援   | 短期入所  | 生活介護  |
| 目標    | 98.5% | 95%   | 98.0%  | 98.0% | 80.0% |
| 4年度実績 | 92.1% | 95.2% | 89.5%  | 10.1% | 49.5% |
| 3年度実績 | 89.2% | 103%  | 92.2%  | 15.9% | 47.8% |

## 〈令和4年度重点目標に対する取り組み及び成果の報告〉

### 1 理念の徹底

朝礼で理念と唱和し、明るい挨拶・丁寧な言葉遣い・優しい対応・清潔感の大切さを意識することに努めました。倫理研修は書面による報告書提出とし、新人職員には入職時のオリエンテーションで倫理研修を行いました。

### 2 重度化や医療的ニーズの高い利用者への対応力の強化

特別養護老人ホーム……今期は尿路感染による入院が増え、延べ31人の入院となり、昨年度より4人増加しました。霞会館の助成にて見守り支援ベッド3台、昭和会館からティルトリクライニング車3台と多機能車いす2台の寄付があり、重度化対応に活用しています。看取り介護による退所は13名、入院継続等による退所は7名で、昨年と変わらない状況でした。眠りスキャン20台を活用し、状態観察がタイムリーに分かり危険予防・体調変化の早期発見に繋げることができました。

障害者支援施設……入所施設で使用しているリフト1台の入れ替え、ベッド1台の入れ替えを行い、重度化している利用者の対応に活用しました。

### 3 人材の育成

全ての職員に等級にあったより具体的な目標設定シートを作成し、振り返りを行いながら技術に合わせた指導を行いました。

研修に関しては、各委員会では感染症予防対策で集合式を避け、レポート形式研修を中心に行いました。

### 4 地域貢献活動(但しコロナ感染が終熄後に再開予定)

地域活動も制限されており、多くの交流の場は持てませんでしたが、11月に地域と協働し炊き出し訓練を実施し、800名以上の来苑がありました。3千食の非常食の配布も実施しました。また、理事長が町内会の支会長として役割を担いました。

### 5 防火・防災対策の強化

新型コロナウイルス感染対策により、例年通りには訓練は実施できませんでしたが、10月に夜間想定防災訓練を実施しました。また、3月には初めての試みで、「机上訓練」を実施しました。

自衛消防訓練を4月、5月、6月、11月、22月の4回実施しました。防災設備、非常食の設置場所等の確認スプリンクラーの元栓の閉め方などの確認を行いました。

### 6 経費の削減

節電と消耗品等の節約の意識付けを行いました。消耗品等購入時は必ず上長の承認を得ました。

### 7 稼働率等に関する数値目標(コロナ感染が終熄見通しとなることを前提としたプラン)

#### (生活支援課)

特別養護老人ホーム・看取りによる退所が13名、入院継続による退所が7名の合計20名で例年と変わらない人数でした。コロナ禍で入所調査が困難だったこと、また入所待機者が他施設との争奪戦のような状況となっており、稼働率に影響しました。

高齢者短期入所事業・施設内でのコロナ感染による利用キャンセルや利用予定者のコロナ感染及び濃厚接触等が大きく影響しました。利用者の施設入所による利用終了も空床が増えた要因となりました。

#### (障害者支援課)

施設入所支援……………年度途中で他施設に転居する利用者が1名。高齢化により療養が必要な利用者が1名となり、4月・5月以外は満床とならず稼働率が低迷しました。年度最後の3月31日に満床となりました。

生活介護(通所)……………コロナ感染症の影響もあり、新規の利用者はおらず、稼働率は前年とほぼ変わらず微増の状況となりました。

短期入所……………新規の利用者が5名増えましたが、定期的な利用者ではないため、稼働率は前年に比べて減少となりました。

## 8 専門委員会の設置と活動

## 9 事故報告

練馬区・東京都に届け出た事故は 14件でした。

|             |    |                                  |
|-------------|----|----------------------------------|
| 転倒・転落（疑い含む） | 8件 | 骨折8件                             |
| 裂傷等         | 2件 | 裂傷にて縫合2件                         |
| その他         | 4件 | 胃ろうカテーテル抜去1件 誤与薬2件<br>ワクチン接種ミス1件 |

## 10 福祉サービス第三者評価

今年度は、特別養護老人ホーム及び障害者支援施設ともに特定非営利団体 NPO サービス評価機構にて評価を受けました。

## 11 利用者状況

### 【特別養護老人ホーム】

●利用者の性別入所者数(入院者は除く)・平均年齢 ※令和5年3月現在

| 性別 | 在籍者数 | 平均年齢  | 性別 | 在籍者数 | 平均年齢  |
|----|------|-------|----|------|-------|
| 男  | 19人  | 77.9歳 | 女  | 66人  | 87.4歳 |

●要介護度 ※令和5年3月現在

| 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|------|------|------|------|------|
| 0人   | 3人   | 10人  | 37人  | 35人  |

### 【高齢者短期入所事業】

●介護度・年間延べ人数

| 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4   | 要介護5 |
|------|------|------|------|------|--------|------|
| 8人   | 40人  | 251人 | 470人 | 818人 | 1,407人 | 480人 |

### 【障害者支援施設事業】

●入所支援利用者の性別在籍数・平均年齢 ※令和5年3月現在

| 性別 | 在籍者数 | 平均年齢  | 性別 | 在籍者数 | 平均年齢 |
|----|------|-------|----|------|------|
| 男  | 5人   | 46.4歳 | 女  | 5人   | 51歳  |

●短期入所利用者(区分・年間延べ人数)

| 障害支援区分 3 | 障害支援区分 4 | 障害支援区分 5 | 障害支援区分 6 |
|----------|----------|----------|----------|
| 4 人      | 6 人      | 0人       | 27 人     |

●生活介護利用者(区分・年間延べ人数)

| 障害支援区分 3 | 障害支援区分 4 | 障害支援区分 5 | 障害支援区分 6 |
|----------|----------|----------|----------|
| 2 人      | 43 人     | 580 人    | 2026 人   |

〈利用者サービス(介護職)〉

1 特別養護老人ホーム

＜今期の報告＞

・コロナ感染等の研修で、ガウン着脱、レポート方式の研修を続けていた中で感染者が発生し、早期の感染対策を行い、少人数に抑えることが出来ました。コロナ禍でも楽しめる時間を持てるよう、塗り絵・書道など個別に行えるレクエーションを増やして実施しました。

入居者が体調不良の時は、不安にならるように声掛けを行い状態によりラジオや音楽を流すなどの対応を行いました。

2 短期入所事業

＜今期の報告＞

・生活リハビリとして、日常生活動作を積極的に取り入れて支援しました。季節を感じていただけるよう、中庭や屋上、近隣の公園の散策を行いました。新しく離設予防装置を設置して、事故防止に繋がりました。

3 障害者支援施設

＜今期の報告＞

・リフトの活用を徹底し、職員の負担軽減につなげました。

・新型コロナウイルス感染症は入所、通所利用者ともに感染者は発生しませんでした。職員でシフトなどの協力体制をつくり、対応することで、継続したサービス提供が行えましたが、サービス提供体制の不足による課題が残りました。

4 通所介護事業 休止中

5 居宅介護支援事業 休止中

## 6 共通部門(介護職以外)

### (1) 食事サービス室

#### <今期の報告>

- ・利用者の食事状況、栄養状態の管理に努め、一人一人に合った栄養ケアを心掛けました。
- ・コロナ禍でも、食事を楽しんで頂けるよう、イベント食や季節を感じる行事食を実施し、利用者の満足度に貢献することができました。
- ・新型コロナウイルス感染症発生時は、感染拡大防止の為、厨房と現場の連携に努めました。また、感染症用使い捨て食器等、不足しないよう管理を徹底しました。

### (2) 生活相談室

#### <今期の報告>

- ・新型コロナウイルス感染症発生時には、自治体への報告や書類作成、現場がスムーズに支援を行えるように物資の調達、入居者家族への報告を行いました。
- ・今期は13名の看取りを行いました。コロナ禍でもご家族と会える機会を設け、寄りそった支援に努めました。
- ・コロナ禍では入所調査が困難となり、入所まで日数を要してしまうことがありました。来期は早期の待機者選定を行っていきます。

### (3) 機能訓練室

#### <今期の報告>

- ・機能訓練を提供するのみならず、楽しい時間とと思っていただけるような関わりに努めました。ADLに対する関わり及び、他職種との連携をすすめていきました。

### (4) 看護室

#### <今期の報告>

- ・利用者の健康管理は、例年同様に情報収集とアセスメントを行い他職種と相談し、軽快・改善に導きました。  
必要時には嘱託医及び医療機関と連携し、受診に繋げました。
- ・感染症については施設内コロナ感染が利用者と職員で発生しましたが、感染対応・保健所連絡・最小限の感染にて収束できました。ワクチンは調整し実施しました。  
また、2月にノロウイルス疑い症状が発生しましたが、適切な対応で大事に至らず収束しました。
- ・褥瘡及び下肢潰瘍については、エアマットの利用、栄養アセスメントを実施し、発症した場合はナース間、他職種でアセスメントを行い、適切な処置にて早期治癒に繋げました。
- ・東京都介護職員による痰吸引実施研修を行い、3名が修了しました。夜間痰吸引が必要な利用者のアセスメントを行い、誤嚥及び発熱者が減少しました。
- ・排便コントロールについては、利用者に負担が少ない方法で調整しました。